

新鮮で爽やか、おいしい空気の暮らしで、しあわせ深呼吸。

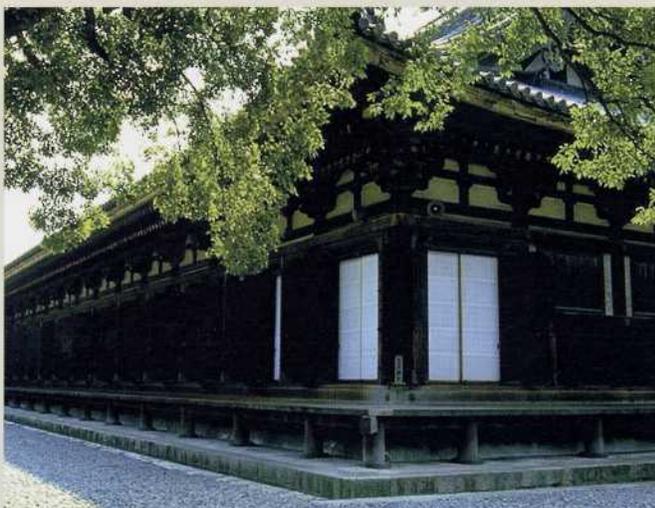


image photo

**昔**の家と今の家、その違いはさまざまです。家の様式や間取り、窓や壁など、中でも機能性は昔と今とでは最も大きく変わったといえるでしょう。昔、木を切り出すことさえ重労働だった時代にも丹念にそれを加工し、気候風土にあわせ、古来から蓄積された知恵を駆使して快適な住まいを創造してきました。そしてそれは建築物に見る束石や高床、天窓などに表現され日本固有の高温多湿な気候風土を克服する知恵の集積ともいえます。

**か**つての木、紙、土という素材を使った日本の家は自然な換気ができる工夫がなされていました。現代ではプライバシーの保護や冷暖房の効率を高めるため、気密性に優れた家になっています。しかしそのままでは空気がよどみ、湿気、結露、ダニやカビなどを発生させシックハウス症候群という新たな問題をかかえることになりました。「ユーロコート」は室内の空気を常に新鮮でクリーンに保つ、全館熱交換気システムを採用しています。

**Q** 高気密住宅では換気は大丈夫でしょうか？

**A** 隙間風が侵入して自然と空気が入れ換わることを自然換気といいます。昔の木造住宅ではこの自然換気の回数は1時間あたり約3回といわれていました。これが高気密、高断熱の住宅では0.25回となってしまいますので、これを技術によって換気させるシステムが必要となってくるわけです。

**Q** 換気することによって折角の室内の冷氣、暖気が逃げてしまうのでは？

**A** 「ユーロコート」は24時間熱交換気システムで、室内で調整された温度の70%を再度活用し、また24時間セントラル冷暖房システムとの組み合わせで理想的な温度管理を可能にしています。



高気密・高断熱の不安をすべて、安心に変える24時間熱交換気システム。

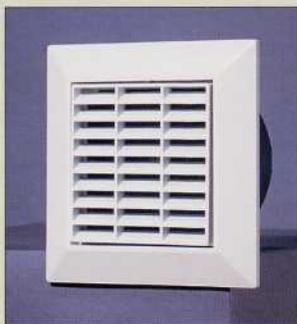


image photo

**窓**を閉めきったままでも室内外の空気を循環させて、室温にほとんど影響を及ぼさずにクリーンな外気を室内に取り込むシステムが全熱交換型24時間換気システムです。全熱交換型ユニットを通して熱交換された新鮮な空気を各居室に供給し、汚れた空気を強制的に排出。熱交換の換気とは、夏季には冷房している室内空気を利用して外の暑い空気をできるだけ冷やして部屋へ取り入れ、冬季には暖房している部屋の空気を入れ換える時に（換気するとき）その暖かい空気のエネルギーを利用して外の冷たい空気をできるだけ暖めてから室内へ取り入れることです。窓を閉めきったままの状態だと、約2時間で家全体の空気を入れ換え、湿度は常に50～60%に自動コントロールします。（冬場の乾燥時期には、加湿器が必要となります。）また、さらに優れた特徴として、空気清浄フィルターによってアレルギーの原因ともなる花粉をシャットアウトするとともに、カビ・ダニ・ホコリを減らす上、結露も解消する健康的にも優れたシステムです。



●リモコンS/W



●吹出吸入口



●ダクト



●熱交換機



●室内機



●室外機



●空気清浄フィルター